

てのあと

創刊号



ニューズレター てのあと vol.1
発行日：2011年3月20日
発行元：てのひら～人身売買に立ち向かう会
発行責任者：百瀬 圭吾
デザイン：村上 なほ

活動の存在理由と必要性を確かめるなかで 代表理事 百瀬 圭吾

おかげさまで、特定非営利活動法人の設立総会を終え、法人設立に向けて準備に奔走しています。この間、てのひらの設立趣旨を考えるなかで、時間をかけて「なにゆえにこの活動は存在し、継続していく必要があるのか」という存在理由と必要性について追求する機会に恵まれました。そして、法人の設立趣旨書には次のことを掲げるに至りました。

【ビジョン (目標)】 人身売買の起こらない社会をめざす

- 【ミッション (使命)】
1. 民間シェルターを利用する当事者へのサポートによって人身売買の再発を防止する
 2. 人身売買を引き起こすさまざまな出来事を広く共有し、人身売買を未然に防止する
 3. 目標を実現し、使命を達成するために、志をおなじくする個人や組織と連携する

なぜ、ビジョンやミッションを創り出すことに時間をかける必要があるのかというと、社会のなかで何とかしなければならぬ問題に取り組むことは、荒波立ちただかる大海に長い航海を挑むようなものだからです。ゆえに、険しい航海の中でたどり着くべき終着点を見失わないために羅針盤となる「ビジョン」と「ミッション」が欠かせないからです。

先日、日本語読み書き教室に通うある当事者女性に話を聞く機会がありました。彼女は本当に努力家で、幼い子どもと一緒に毎週教室に通ってきます。彼女は子どもがまだ幼いので、幼い子どもがいるという理由で断られてしまい、働くことができないと話していました。けれど、子どもを保育園に預けられるようになったら、教室で学んだ日本語の読み書きや会話力を活かして仕事を早く見つけ生活保護を切り上げて、自活をめざしたいという強い信念を口にしました。彼女の言葉とたくましさには私は感激し、同時になにゆえにこの活動を続けてきたのかを再認識することができたのです。

活動を続けていくことは、困難の方が多いです。本当に必要とされているのかさえわからなくなり、加害者側からの誹謗中傷にさらされることも少なくなく、そんな中でビジョンやミッションさえ見失ってしまいそうになる時もあります。でも、こうした当事者のたくましさによって気づかされ、勇気づけられて、私たちの存在理由を取り戻す時、また活動を続けていこうと回帰することができるのです。これからも揺らぎながら羅針盤を失わないで、あきらめることなくこの航海を続けていきたいです。皆さんといつも共に。

社会に広く知らせる事業 活動報告 (2010年10月～2011年2月)

2010年

- 10月30日(土) 関東学院大学主催 国際交流についてのシンポジウムにてパネリストを務める (30名が参加)
- 12月4日(土) 生活クラブ生協かながわキララ賞 20周年記念シンポジウムにてパネリストを務める (120名が参加)
- 12月4日(土) 横浜YWCAと共催で、女性と子どものエンパワメントをテーマにしたイベントを共催 (15名が参加)
- 12月16日(木) 県立川崎高校から依頼を受け、人身売買についてのワークショップを提供 (12名が参加)



2011年

- 1月21日(金) 東京都北区男女共同参画センター主催事業で人身売買についてのワークショップを提供 (25名が参加)
- 1月23日(日) 特定非営利活動法人設立総会および2010年度年次総会を開催 (11名が参加)
- 2月11日(金) よこはま国際フェスタ 2011にて、人身売買についての啓発イベントを開催 (27名が参加)



※上記のうち、神奈川県内での事業は「かながわボランティア活動推進基金 21 (神奈川県)」からの公的補助金を受けて開催しました。
なお、3年間にわたり神奈川県から補助を受けて行ってきた地域的な啓発事業は、今年度の補助期限満了を受けて終了となります。

活動だより

DV や人身売買等から逃れてきた女性とその子どものための民間シェルターで行っている日本語「読み書き」教室と子どもたちの世話をする子どもサポーターの活動を報告します。

この一年間の日本語「読み書き」教室から

(社) 部落解放・人権研究所「安田識字基金」助成対象事業

日本語「読み書き」教室の一年を振り返ると、4つのことが印象に残っています。

まず、二度、三度と同じ内容の授業を受けた人の中に「日本語検定のテスト内容にチャレンジしてみたい」という方が出てきたことです。このような希望を持った2人の方にミニテストを実施してみたところ、二人とも合格点をクリアできたことです。

2つ目に、1年前に比べて質問を投げかけてくる方が増えたことがあります。

3つ目は、シェルターを利用中の方だけではなく、シェルターを退所してからも教室に通って

くる人が増えたことがありました。そのため、退所者のための内容も仕立てたことで、シェルターの退所に際して中途半端なところで学びを終えるというパターンも減少させられました。

最後に、学習内容はテキストにないことも取り入れ、日常生活や仕事をする時に役立てられるような内容を組み入れ、プリントで宿題を出すなど工夫することで、熱心に学ぼうとしている方からのさまざまな要望に応えようと努めてきました。

このような参加者との創意工夫を通して、この教室の参加者が以前に比べてよりステップアップできたのではないかと考えています。

授業に参加したXさんが、病院での会話劇(ロールプレイ)の中で、「『お大事に』の意味がやっとわかった」と喜びの表情を見せてくれました。こんな笑顔にたくさん出会えることは私たちにとっても大きな喜びです。(日本語講師 K)



子どもサポーター活動記録

(社福) 朝日新聞厚生文化事業団「子どもへの暴力防止プロジェクト」助成対象事業

2010年9月から12月まで、子どもサポーターは日本語教室毎に平均2~3名の子どもたちをサポートしました。また、シェルターの利用女性が今後の生活のために、外出し必要な手続きをする時間帯に子どもを世話してほしいという要望がシェルターから入った際にも提供しました。

最近、乳児や就学前の幼児に対応することが多くなっています。おむつの替え方、ミルクの与え方、抱っここのしかた等も子育て未経験のサポーターにも学んでもらえるように徐々に整えていきたいです。

月	回数	子ども数
9月	4回	11人
10月	4回	7人
11月	4回	5人
12月	2回	20人
合計	14回	43人

コラム 南風通信 by 芦澤 俊

昨年(2010年)の11月に行われた沖縄県知事選挙は、現職の仲井真弘多氏が当選しました。

沖縄県知事選では毎回、米軍基地問題が争点となりますが、今回立候補した仲井真氏、伊波氏の両氏がそろって普天間基地の辺野古移設を反対し、選挙の争点をはっきりしないままの選挙となりました。全国的なニュースにはあまりならないのですが、沖縄の米軍兵士が起こす問題の中に性犯罪があります。沖縄には現在、約2万4千人の米軍兵士が駐留しており、その4分の3に相当する1万8千人が海兵隊によって占められています。これは日本に駐留する海兵隊の約90%にあたります。この海兵隊員が沖縄の女性をレイプやそれに近い性犯罪を頻繁に引き起こしています。海兵隊になる人々はノースカロライナやケンタッキーなどの貧乏州の出身者です。これらの州では「レッドネック(重労働の日雇い労働者)になるか、刑務所に行くか、海兵隊になるか」

と言われており、貧困によりきちんと教育を受けることができなかった人々が生活の糧を求めて海兵隊になり、イラクやアフガニスタンなどの戦争の最前線に沖縄から次々と送り込まれています。性犯罪などを含めた米軍兵士による一連の問題は、この海兵隊の多さにあると指摘されています。貧困によって人権を保障されなかった海兵隊員が、異国の地で沖縄の女性の人権を侵害する。社会によって傷つけられた者(被害者)が「加害者」に回る、という基地問題の複雑さを人権の側面からも感じます。尖閣問題によって日米安保の重要性が再認識されていますが、日米安保の具体的な形の殆どは沖縄にあります。日米安保の重荷の殆どを沖縄が負っている、という本質的な議論がないままに「日米安保」という言葉が一人歩きしている現状に、大きな不安を感じています。

事務局通信

- NPO法人設立カンパは、合計23,000円集まりました。本当にありがとうございました! 設立総会、法人申請書類の作成、東京都への届け出等の必要経費に充てさせて頂きました。
- 昨年秋から、日本社会事業大学の佐藤美里さんが子どもサポーターとして活動に参加されました。今春から社会人になるため、活動への参加は一区切りとなります。本当にありがとうございました!

入会案内とご寄付のお願い

てのひらの設立趣旨に賛同し、活動を支えて下さる方を大募集しています!

一般会員 5,000円 団体会員 10,000円
賛助会員 一口3,000円 団体会員 一口5,000円

ご寄付も大歓迎です!

郵便振替口座 00190-4-280388

口座名義 てのひら~人身売買に立ち向かう会

他行からは 当座 019 口座番号 当座 0280388

口座名義 てのひら~人身売買に立ち向かう会

お問い合わせ

〒143-8799

東京都大田区山王 3-9-13 大森郵便局 留

TEL: 050-1445-6947

FAX: 020-4624-7480

E-mail: info@tenohira-trafficking.org

HP → <http://www.think-trafficking-project.com/>

